

令和5年度 事業活動報告

社会福祉法人 すこやか福祉会

障害者支援施設
かたくりの里

〒953-0103

新潟県新潟市西蒲区橋本88番地1

TEL 0256-82-1811

FAX 0256-82-1815

令和5年度かたくりの里 事業報告

<目 次>

ページ

1	理念・基本方針	1
2	令和5年度 事業方針	2
3	令和5年度 中期方針 振り返り	2
4	障害福祉サービス事業	3
	施設入所支援	3
	生活介護	3
	短期入所	4
	指定特定相談支援事業	5
5	職員体制	6
6	生活支援課業務報告	6
	入所支援係	6
	地域支援係	7
	療護係	8
	総務係	13
7	業務委員会	14
	権利擁護	14
	安 全	15
	環境整備	16
	生活向上	17
	防 災	18
	研 修	19
	日中活動	20
	情報管理	22
	業務検討会	23
8	施設外活動	24
9	補助金・助成金等事業報告	24

1 理念・基本方針

○運営理念

HAPPY & ENJOY

～ ころ豊かな暮らしを 地域と共にあゆむ ～

○目的

障害者支援施設 かたくりの里は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会を提供その他必要な施設障害福祉サービスを適切かつ効果的に行うことにより、障害者の福祉の増進を図ることを目的とする。

○方針

障害者が日常生活または社会生活を営むための支援は、障害の有無にかかわらず等しく基本的人権を享有するかけがえない個人として尊重されるものであるとの理念に乗っ取り、すべて障害者は、個人の尊厳が重んじられ、その尊厳にふさわしい支援を保障される権利を有するものとする。すべて障害者は、社会を構成する一員として社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会を与えられるものとする。利用者の尊厳、人権とプライバシーを重視した対応に心掛け、充実した人生を安全で快適な生活環境のもとで過ごせるように配慮する。また、高齢化等による2次的な障害の防止に努めると共に、地域社会との幅広い交流を通して健全な生活が営まれる開かれた施設の運営を行う。

施設の中だけで生活が完結することではなく、社会の構成員として社会参加し、障害者問題に対する地域住民からの理解と認識を深めるための啓発活動も必要である。利用者の社会生活を促進し、地域生活・在宅生活へ移行するために必要な援助や地域等との連絡調整を積極的に行う。

○利用者個人の尊厳を尊重し、適性、障害の特性その他の事情を踏まえて個別支援計画を作成します。これに基づき利用者主体のサービスを提供するとともに、その効果について継続的な評価を実施し、利用者に対して適切かつ効果的なサービスを提供します。

○生活の場としての施設支援サービスの提供とともに、地域生活への移行を意識した社会生活力向上プログラムや積極的な社会参加を促進していくプログラム、日中活動を提供します。

○開かれた施設を目指し、地域交流スペースの活用と地域との連携を図ります。

2 令和5年度 事業方針

- (1) 「HAPPY & ENJOY」を合い言葉に、明るく楽しい生活空間を創造する。
- (2) 利用者のニーズを把握し、個別支援計画を策定し実施する。
- (3) 利用者が積極的に社会参加できるよう社会生活力向上プログラムを計画し実施する。
- (4) 利用者が主体的に活動できるよう自治組織と協力する。
- (5) 計画相談支援の事業を行うことにより、障害福祉サービス利用者の利便性を向上させる。
- (6) 利用者の苦情等に対しては、真摯に受け止め解決を図るように努める

3 令和5年度 中期方針 振り返り

○事業継続計画（BCP）の策定（令和3年～5年）

- ・自然災害及び感染症BCPの更新を行った。
- ・ご利用者、職員合同で非常食に関する研修・試食会を実施した。

○福祉サービス第三者評価受審後の取り組み（令和4年～6年）

- ・第三者評価受審後、改めて利用者アンケートを実施し、サービス向上に繋がるご意見、課題を抽出することができた。令和6年度は抽出課題の検討・改善を行う。

○介護リスクマネジメントの取り組み（令和4年～6年）

- ・介護リスクマネジメント研修動画を作成し、全職員に対し研修を実施した。
- ・新たに整備した事故・ヒヤリハット報告マニュアルについて、職員の意識や理解度を把握するためアンケートを実施した。
- ・危険予知訓練（KYT）の研修を実施した。
- ・リスクマネジメントに関する行動目標を定め、毎日復唱した。

○接遇力向上の取組み（令和5年～7年）

- ・接遇力向上のための研修動画を作成し、全職員に研修を実施した。
- ・適切な支援に向けた行動目標を定め、毎日唱和した。
- ・利用者アンケートを実施し、取り組みの評価を行った。

○福祉人材の育成と定着に向けた取組み（令和5年～7年）

- ・全職員に対し自己申告書を実施し、希望者に対し面接を実施した。

4 障害福祉サービス事業

■施設入所支援（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

定員50名（ALS 居室利用者は定員内数で利用する）
障害支援区分4（50歳以上は区分3）以上が該当する。

入退所動向

入所 女性2名 退所 女性2名

令和6年3月31日現在

性別	利用者数	障害支援区分				年 齢		
		3	4	5	6	最小年齢	最高年齢	平均年齢
男性	31	0	3	11	17	23歳2ヶ月	86歳11ヶ月	62歳7ヶ月
女性	19	0	2	1	16	32歳5ヶ月	76歳9ヶ月	58歳7ヶ月
	50	0	5	12	33	男女平均年齢 60歳7ヶ月		

令和5年度 施設入所支援 利用状況・稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月末登録者数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
延べ人数	1470	1506	1450	1530	1526	1434	1426	1442	1509	1475	1385	1496
入院・外泊	30	46	57	21	30	51	93	47	43	53	68	56
稼働率(%)	98	97	97	99	98	96	92	96	97	95	96	97

令和5年度年間稼働率 96%

令和5年3月末待機者 男性 5名 女性 2名 計 7名

■生活介護 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

定員 58名

施設入所は区分4(50歳以上は区分3)以上

地域生活(通所等)区分3(50歳以上は区分2)以上が該当する。

支給量は施設入所、地域ともに月数-8日

営業時間は8:30~17:00。土日と年末年始の送迎サービスは実施しない。

令和6年3月31日現在

令和5年度 通所 登録利用者 22名

性別	利用者数	障害程度区分					年 齢		
		2	3	4	5	6	最小年齢	最高年齢	平均年齢
男性	13	1	3	4	1	4	19歳7ヶ月	64歳7ヶ月	50歳1ヶ月
女性	9	1	1	1	2	4	26歳7ヶ月	65歳2ヶ月	50歳7ヶ月
	22	2	4	5	3	8	男女平均年齢 50歳4ヶ月		

令和5年度 生活介護 利用状況・稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設利用者	1078	1122	1076	1138	1144	1066	1074	1068	1125	1099	1009	1109
通所利用者	152	168	175	139	149	169	169	141	139	139	144	142
延べ人数	1230	1290	1251	1277	1293	1235	1243	1209	1264	1238	1153	1251
稼働率(%)	71	72	72	71	72	71	69	69	70	69	71	70

令和5年度年間稼働率 70%

■短期入所（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

令和5年度利用登録者数 33名 男性 16名 女性 17名

地区	男性	女性	短期利用の理由（人）	特記事項
西蒲区	7	6	介護者の負担軽減(11) 緊急(2)	生活介護併用(10)
秋葉区	1	0	介護者の負担軽減(1)	
燕市	6	10	介護者の負担軽減(14) 本人希望(1) 緊急(1)	生活介護併用(6)
三条市	2	1	介護者の負担軽減(3)	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	18	19	19	15	15	10	19	19	19	19	21	19
利用日数	112	111	118	84	110	92	107	74	76	97	86	73

定員 5名 併設福祉型短期入所サービスを提供した。

令和5年度年間稼働率 63%

半数の利用者が生活介護を併用し、短期入所と日中活動を併用する短期入所（Ⅱ）を算定。

宿泊をとまなうサービス提供なので、施設入所支援係との連携が不可欠であり、入退所に伴う事務処理、荷物のチェック等、利用者に迷惑がかかることがないように職員間での連絡・報告を確実にする必要がある。

□国土交通省短期入所協力事業

自動車事故が原因で、重度の後遺症を持つため、日常生活動作について常時又は随時介護が必要な状態の方を受け入れる施設として、平成27年10月に指定を受けた。

令和5年度受入実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	1	1	1	1	0	1	0	1	1	1	1	1
利用日数	3	4	4	4	0	4	0	4	4	4	4	4

□新潟市地域生活拠点等事業

在宅で生活する障がいのある方で、高齢のご家族等と生活する方を対象とし、緊急時の受け入れ・対応を行い、安心安全な地域生活の継続を支援するため、令和3年4月に登録を行った。

令和5年度受入実績なし。

指定特定相談支事業

地域連携相談室 すこやか 令和5年度事業活動報告

(1) 相談支援事業の概要

「地域連携相談室 すこやか」の指定計画相談支援の事業を行うことにより、障害福祉サービス利用者の利便性を向上させる。

- 指定計画相談支援
- サービス利用支援
- サービス等利用計画案及びサービス等利用計画の作成
- 継続サービス利用支援
- サービス等利用計画の見直し

<実施状況>

月	計画作成数	モニタリング数	計
4	4	6	10
5	2	9	11
6	5	7	12
7	3	4	7
8	6	4	10
9	2	5	7
10	4	3	7
11	6	7	13
12	1	7	8
1	2	8	10
2	3	7	10
3	2	7	9
合計	40件	74件	114件

(2) 事業の内容

【人員配置】 管理者 1名（相談支援専門員兼務）
相談支援専門員 2名（常勤専従1）（常勤兼務1）

【主たる対象とする障害】 特定しない

【営業日時】 月～金 8：30～17：15 但し、祝日、12月29日～1月3日を除く

【通常の事業実施範囲】 新潟市西蒲区 燕市 弥彦村

【他機関との連携体制】

- ・障害者支援施設かたくりの里 入所支援係、地域支援係と連携した。
- ・西蒲区自立支援協議会相談支援事業所会議への参加と共に、西蒲区障がい福祉係、新潟市障がい福祉課と連携を図った。
- ・新潟市基幹相談支援センター主催の研修会に参加した。
- ・新潟市基幹相談支援センターや新潟市西蒲区の相談支援事業所、障害福祉サービス事業所等と連携を図った。
- ・相談支援専門員現任研修に相談支援専門員1名参加。

5 職員体制

■人員配置

職 種 等	人数
施設長	1
医師（嘱託）	1
サービス管理責任者	2
看 護	5
作業療法士	1
生活支援員	3 5
管理栄養士	1
事務職員	1
運転員	1
特定相談支援事業	
管理者（兼務）	1
相談支援専門員	2

※生活支援員は兼務・パートを含む人数

人員配置による報酬算定状況

施設入所支援

- ・夜勤職員配置体制加算
- ・重度障害者支援加算
- ・栄養マネジメント加算

生活介護

- ・人員配置体制加算（1.7:1以上）
- ・福祉専門職員配置等加算
- ・常勤看護職員等配置加算
- ・リハビリテーション加算

短期入所

- ・栄養士配置加算

■会 議

すこやか福祉会定例会議	毎月 1 回
運営会議	毎月 第 3 火曜日
業務検討会	毎月 第 2 火曜日

6 生活支援課 業務報告

■入所支援係

【活動内容】

- ・サービス管理責任者を中心に個別支援計画作成ため、ご利用者及び生活支援員・看護師・作業療法士管理栄養士・相談支援専門員が参加しカンファレンスを行った。
- ・原則として中間評価を6か月後、終了時評価を12か月後に実施。又、再アセスメントを、前回作成したアセスメントシートを基に実施したことで、利用者の思いや身体状況等の変化を情報収集しやすくなった。
- ・利用者の急な状態変化、ニーズの変化には、随時カンファレンスを開催して個別支援計画の再検討を行うことにより円滑に支援を実施できた。
- ・利用者がより良い生活のため、業務検討会、生活向上委員会で決定した改善案を実施した。
- ・入院時の病院、家族との連絡調整、利用者に必要な支援を行った。
- ・入退所時の必要な支援、調整を行った。
- ・成年後見制度利用の為の支援を行った。
- ・ノーリフトポリシーに基づき、利用者職員との双方にとって安全で安楽な移乗方法の検討を行い実施した。
- ・新規採用職員に対し、プリセプターを中心に新人研修を実施した。

- ・職員からの相談事や不適切な言動について、主任以上が担当し随時話し合いを行った。
- ・職員より個別に吸い上げた意見や要望についての検討や施策の実施を行った。個別であっても同意見多数となっている件を優先的に検討した。
- ・ケアハラスメントについての職員聞き取り、利用者へのお願いを行った。
- ・業務の流れの見直しを行った。

■地域支援係

□生活介護（通所）

令和5年度	新規受け入れ者数	7名
	終了者数	3名

□短期入所事業

令和5年度	新規受け入れ者数	6名
	終了者数	2名
	緊急短期入所受け入れ者数	5名

【活動内容】

- ・サービス担当者会議に参加し、他事業所と情報共有し、支援に反映させることができた。
- ・新潟市西蒲区自立支援協議会に年4回、がくふく連携会議に年2回参加した。
- ・新たに喀痰吸引等研修で1名の受講が完了することはできた。喀痰吸引等必要な利用者に対し、看護師と連携し、手技を行った。
- ・感染予防対策とし、利用者の体調確認、空気清浄機の活用、手洗い・うがいの励行、都度必要備品等の消毒を行った。
- ・通所利用者、短期入所利用者のADLに合わせた支援を提供した。
- ・地域社会活動は新型コロナウイルス感染状況の影響を受けたが、地域との交流は少しずつ図れるようになってきた。

（通所事業）

- ・令和5年度、新規利用者7名を受け入れることができ、通所稼働率や利用相談件数は令和4年度と比較し向上した。
- ・新型コロナウイルスが5類に引き下げられ、感染対策は継続しながらも日中活動に参加できるようになったことで、メリハリのある施設利用を提供できた。
- ・喀痰吸引2号研修が1名完了したが、経鼻経管栄養の研修が進めることができず、2名が今年度終了することはできなかった。

（短期入所事業）

- ・定期かつ長期利用者が他施設に入所したことで、稼働率は下がる月もみられたが、令和4年度同様に新規利用者の相談は多く、利用につながられたことで、年間稼働率は目標に近い数値を残すことはできた。
- ・緊急での利用相談件数も多く、可能な限り受け入れることはできた。

■療護係

□看護

【活動内容】

1. 利用者の健康管理

- ・朝の申し送りから情報を得て、利用者の体調のチェックを。
- ・利用者の体重、体温、血圧測定を月1回行った。
- ・利用者検温を1日1回行った。

2. 利用者の医療処置

- ・排便チェック表に添って排便状態を把握し、必要に応じて浣腸、坐薬等を使用した。
- ・膀胱洗浄、留置カテーテル交換、褥創処置、軟膏処置、包交、点眼、点耳、点鼻、爪切り、経管栄養の注入、痰吸引等行った。
- ・使用した医療物品の消毒、高圧滅菌等を行った。
- ・医療廃棄物を管理、処理の依頼。

3. 利用者の通院介助

- ・通院の送迎、介助を実施した。
- ・主治医への状態報告、主治医からの指示を受け次回の予約確認をした。
- ・調剤薬局へ処方箋を送り、薬の受け取りをした。
- ・個人のカルテに受診内容の記録を行い、必要事項はケース記録等でスタッフに伝達した。
- ・医務室の受診予定表に次回の予約を記入した。

4. 利用者の服薬の管理

- ・主治医から処方された薬を医務室で保管した。
- ・内服薬は個人別に投薬車で管理した。
- ・利用者の1日分の内服薬の準備を行なった。朝、昼、夕、眠前トレーに薬を用意した。
- ・誤薬を防ぐために、薬を用意した人、看護師リーダー、薬を用意した人でトリプルチェックを行いチェック表にサインをした。
- ・昼の薬は看護師が、朝、夕、眠前の薬は介護職員が責任をもって利用者に投薬した。

5. 嘱託医診療の支援

- ・大西洋司先生に月2回往診時、診察の介助を行なった。
- ・利用者の体調管理に関する相談し、容体悪化した場合紹介状をいただき他科受診を行った。
- ・利用者の入退院があったときは報告した。
- ・インフルエンザ予防接種の準備と接種の介助を行った。
- ・コロナワクチン接種6回目までの希望者に接種の介助を行った。
- ・大西先生が主治医になっている利用者の定期処方を毎週1回行なった。
現在処方してもらっている46名の利用者を四つのグループにわけ、毎週月曜日にファックスを送り、翌週の水曜日に薬を受け取りに行った。

6. 安藤医院(泌尿器科)の往診介助

- ・月2回、水曜日の午後往診。9名のフォーレ交換と5名の薬の処方を依頼した。
- ・往診1週間前に個人の定期薬をファックスで依頼した。
- ・フォーレカテーテルの交換、膀胱洗浄の介助を行った。

7. 利用者の入退院の準備および介助

- ・看護情報を作成し入院時用意した。
- ・病院に持っていく薬等の準備をし、介護スタッフに衣類等の入院準備を依頼した。
- ・入院中は、支援員とともに病院との連絡を行った。
- ・退院が決まったときは病院の担当看護師より必要な情報を受け取った。

8. 利用者の体重測定、検温、血圧測定を月1回行った。

9. 年間保健衛生計画の実施

- ・インフルエンザ予防接種

施行日：令和5年10月11月 接種人数：利用者49名 職員52名

- ・健康診断 年2回

1回目実施日：令和5年8月24日(木) 午後13時30分～16時00分

健診項目：検尿、採血、心電図、血圧測定、診察

参加人数：45名 受けない方4名(入院中3名、個人で受けた方1名)

2回目実施日：令和6年2月22日(木) 午後13時30分～16時00分

健診項目：検尿、採血、心電図、血圧測定、診察

参加人数：45名 受けない方4名(入院中3名、個人で受けた1名)

胸部レントゲン撮影：14名

10. スタッフ研修の実施

- ・新人職員へのオリエンテーションを行った。
- ・新型コロナウイルス講習を実施した。
- ・鼻腔口腔吸引、経管栄養の滴下、半固形注入の研修と評価を実施した。

11. その他

- ・処置に使用する薬剤、医療材料、物品等の購入及び管理を行った。
- ・経管栄養実施した。利用者 4名(令和6年3月末現在)
- ・令和5年度インフルエンザに罹患した利用者0名、職員2名。コロナウイルス感染症に罹患した利用者6名、職員20名。発熱のある利用者が十数名発生したが、感染症対策を行い解熱後数日居室で過ごしていただいた。
- ・職員に繰り返し感染症の講習会を実施した。
- ・感染性胃腸炎と診断された職員、利用者ともいなかったが感染疑いの職員と利用者がいたので対策を講じ蔓延防止に努めた。
- ・健康教室を実施した。

入院状況一覧（令和5年4月～令和6年3月）

	入院治療	
	人数	期間（日数）
内科	10	277
神経内科	1	105
精神科	1	88
小児科	2	82
整形外科	2	17
産婦人科	1	24
眼科	2	4
計	19	597

病院別受診状況（令和5年4月～令和6年3月）

病 院 名	受診件数
大西医院	233
岩室リハビリテーション病院	210
ひらさわ歯科	126
安藤医院	115
県立吉田病院	48
燕労災病院	33
渡辺耳鼻科	33
西蒲メディカル病院	26
いわぶち整形外科	21
白根緑ヶ丘病院	17
ツチヤデンタルクリニック	14
佐潟公園病院	11
大島病院	10
新潟付属病院	10
新潟市民病院	9
後藤クリニック	8
富樫医院	6
坂井眼科	6
西新潟中央病院	5
しまがきクリニック	5
もたにメディカルクリニック	3
つばめ皮膚科	3
さくらざわ眼科	3
県央医師会応急診療所	2
はすいけ整形外科	1
富永草野病院	1
新潟医療センター病院	1
松村医院	1
計 28か所	962

□栄 養

【活動内容】

1. 経口維持加算の算定

- ・平澤歯科医師に参加していただき、月1回のミールラウンド実施により、経口維持加算Ⅱを算定した。

2. 口腔衛生管理体制加算

- ・半年に1回、計画を作成し、その内容を職員に周知した。

- ・ 歯科受診をしている利用者については、歯科医師や歯科衛生士からの助言をケース記録等に掲載し、利用者の口腔ケアの際の注意事項としてもらえるように努めた。

3. 栄養ケアマネジメントの実施

- ・ 利用者全員に対して栄養ケアマネジメントを実施した。
- ・ 栄養状態別にスクリーニングを実施し、さらにモニタリング、必要であれば栄養ケア計画の変更を行った。

4. 委託会社と連携し、安全かつ衛生的に食事の提供を行い、利用者の嗜好が配慮された献立又は季節を感じる献立の作成に努める。

- ・ 食事への異物混入は、なかった。
- ・ 利用者の好みを献立に反映すべく、5月、7月、9月、11月に、給食座談会を開催し、利用者の要望などを聞き、献立に取り入れた。できれば、2か月に1回の頻度で、座談会を開催したが、会を重ねるごとに、参加者が減少していったので、11月で休止した。

5. 給食会議の企画運営

- ・ 毎月第3木曜日、14時から実施。
- ・ 内容：利用者の要望や意見、調理や献立についての要望、行事食についてなど
利用者の声には可能な範囲で応えるように努めた。変更を行った。

(今年度実施した行事食)

月	行事	主な献立
4	施設開所日（1日）	ケーキ
	すまいるデザート（26日）	苺モンブラン
5	端午の節句（5日）	コーンご飯、そら豆のポタージュ、エビフライプレート、柏餅など
	すまいるデザート（23日）	抹茶のムースケーキ
6	夏至（21日）	レディーボーデンアイス←すまいるデザートとして提供
	選択メニュー（19日）	主菜の選択（サイコロステーキ/塩カルビ）
7	七夕（7日）	七夕そうめん デザートなど
	すまいるデザート（28日）	桃
8	土用の丑の日（30日）	主食主菜の選択（うなぎ丼/海老フライ丼）
	お盆（13日）	いなり寿司、井村屋のようかん←すまいるデザートとして提供
9	敬老の日（18日）	きのこの混ぜご飯、モンブラン←すまいるデザートとして提供
	秋分の日（23日）	おはぎ2種（きなこ、こしあん）
10	十五夜（29日）	お月見まんじゅう
	選択メニュー（26日）	主菜の選択（魚料理/肉料理）
11	福島みごろ御膳（1日）	ツナご飯、こづゆ、ふくしまブルブル など
	勤労感謝の日（23日）	赤飯
12	すまいるデザート（30日）	バスクチーズケーキ
	みんなの日曜日（17日）	吉野家牛丼
12	冬至（22日）	南瓜料理
	クリスマス（25日）	海老ピラフ、主菜選択（サイコロステーキ/フライドポテト）、ケーキ
	大晦日（31日）	年越しそば

1	正月（1日）	おせち料理
	みんなの日曜日（7日）	たいめいけんのハヤシライス
	鏡開き（11日）	葛饅頭←すまいるデザートとして提供
2	節分（3日）	大豆料理
	すまいるデザート（14日）	ティラミス
	鍋の日（14～16）	水炊き鍋、番屋鍋、トマト鍋
3	桃の節句（3日）	ちらし寿司、スフレロール←すまいるデザートとして提供
	春分の日	おはぎ2種（きなこ、こしあん）

6. 嗜好調査

- ・4回実施した座談会や給食会議に参加して下さった利用者から聞いた内容を以て、令和5年度の嗜好調査とした。
- ・給食委託会社が入替わって1年が経つので、令和6年度早々に、利用者全員対象に嗜好調査を実施する。

7. 健康教室

月	内容	担当	参加者数
4月	思い出す力	看護師	5名
5月	食中毒について	管理栄養士	5名
8月	脳トレ コラージュ川柳を作ろう	作業療法士	6名
9月	乾燥肌について	支援員	5名
10月	11月～12月にやるべき健康法	看護師	7名
11月	冬の脱水症について	管理栄養士	2名
12月	脳を元気にするポイント	作業療法士	8名
2月	花粉症対策	支援員	7名
3月	口腔清掃	支援員	6名

□機能訓練

【活動内容】

1 リハビリテーションマネジメントの実施

- ・リハビリテーション実施計画書に基づいた個別訓練を実施した。
- ・機能訓練室だけでなく、居室や食堂などのスペースを利用して個別リハビリや自主訓練を行い機能の維持・回復に努めた。
- ・手作業を中心とした作業活動を提供し、作品を仕上げていくことで、楽しみや意欲向上につながるように支援した。

2 歩行補助具(車椅子や歩行器など)や日常生活用具(ストマなど)の申請・メンテナンス

- ・各利用者の身体機能に合った車椅子や歩行器で、移動を快適かつスムーズに行うことが出来るようアプローチした。
- ・日常生活上で感じる不自由さの相談を受け、適切な福祉用具などの選定にあたった。
- ・環境整備委員会や事故対策委員会などと協力し、補装具の定期的なメンテナンスを行った。

■総務係

施設運営事務全般に関わる業務、経理、労務管理、施設管理等を行った。

【活動内容】

- ・ 職員の入職・退職、産休・育休に関する手続き（提出書類案内等）
- ・ 職員健康診断、ストレスチェックの取りまとめ、衛生管理
- ・ 職員勤怠の確認
- ・ 給与資料作成
- ・ 月末業者請求等の支出会計処理
- ・ 介護報酬、利用料等の収納会計処理
- ・ 介護報酬請求業務（国保連合会へ電子請求）
- ・ 利用者への利用料請求業務（請求書印刷、引き落とし、現金受領処理）
- ・ 次年度予算作成
- ・ 現金出納管理
- ・ 出張命令、旅費作成
- ・ 補助金・助成金申請
- ・ 施設設備、機器の保守管理
- ・ 備品、消耗品の発注業務
- ・ 施設内を巡視し給湯・雑用水・エアコン設備等の運転状況確認、節電の実施
- ・ 入所者受診等の送迎

□令和5年度設備・備品、更新・修繕

4月	東面出窓シーリング修繕工事	193,600円
6月	EHP7系統空調居室北216号室内機基板交換工事、 EHP8系統室空調外機基板修理	313,500円
9月	浄化槽二次側配線引き直し工事	264,000円
〃	消火器26台更新	200,200円
10月	デイサービス浴室照明、会議室照明、1、2F廊下照 明漏電ブレーカー交換 居室北222・226号室コンセント修理	107,800円
〃	療護浴室リフト かるがるサテライト修理	143,000円
11月	1F女性職員トイレ ウォシュレット交換	106,700円
〃	2F給湯室 冷蔵庫入替	159,940円
〃	受水槽給水ポンプユニット更新工事	2,530,000円
12月	浄化槽制御盤内自弁タイマー他交換	173,800円
〃	受水槽配管・ボールタップ交換工事	181,500円
1月	PC8台、サーバー1台更新（リース）	3,179,000円
〃	EHP4系統空調室外機冷媒漏れ修理	295,350円
〃	EHP4系統室外機コントローラー他交換	214,500円

7 業務委員会

職員の業務分担としての委員会活動報告

■権利擁護

令和5年度中期方針に基づき、「接遇力向上の取り組み」を実施した。

1. 苦情・要望

月	要望	報告	苦情	報告	苦情の分類	合計
4月	1	0	3	1	他利用者に対して(1)、職員に対して(2)	4(1)
5月	1	0	0	0		1
7月	1	0	1	0	他利用者に対して	2
8月	1	0	2	0	他利用者に対して(2)	3
10月	0	0	2	0	職員に対して(1)、その他(1)	2
12月	1	1	0	0		1(1)
1月	0	0	2	2	施設に対して(1)、介助方法や支援内容に対して(1)	2(2)
2月	1	1	1	1	介助方法や支援内容に対して(1)	2(2)
3月	1	0	4	3	施設・職員・他利用者に対して(各1)、ケアの内容	5(3)
合計	7	2	15	7		22(9)

() 報告件数

【年間苦情・要望総数】 要望7件、苦情15件(すべて解決・対応済)

- ・毎月の業務検討会、運営会議において、苦情・要望内容の報告を実施した。
- ・苦情・要望内容と1ヶ月後の評価を、毎月第三者委員へ報告を行った。

2. 権利擁護、虐待防止に対する取り組み

- ・適切な支援に向けた行動目標を月ごとに定め、毎日ミーティング時に唱和した。
- ・虐待防止・身体拘束に関するオンライン研修を全職員対象に実施した。
- ・虐待防止・業務振り返りチェックリストを全職員対象に実施した。

3. 身体拘束等の廃止に向けた取り組み

- ・毎月の業務検討会において、身体拘束等に関する報告を実施した。
- ・個別支援計画に組み込み、定期的に解除方法の検討を行った。
- ・身体拘束適正化委員会にて、身体拘束の必要性、支援の工夫等アセスメントシートを活用し、検討を行った。
- ・令和5年度、身体拘束に関する施設内研修を実施した。

【令和5年度 身体拘束解除状況】

入所者 0件

通所利用者 0件

【令和5年度 新規身体拘束同意状況】

入所者 1件

短期入所者 1件

■安全

1. 褥瘡対策検討

【活動内容】

- ・入浴時、排泄介助時等に身体の観察を行い、異常発見時は看護師の確認後に褥瘡診療計画を作成した。また診療計画書の書式を見直し変更した。
- ・生活支援員（介助方法）管理栄養士（栄養強化の有無）NS（処置方法）OT（移乗、座位、臥位）について検討し周知した。
- ・年間を通じて9名の利用者に褥瘡が認められた。
 - 発生から1か月で完治した。 2名
 - 良化と悪化を繰り返している。 2名
 - 現在完治しており、常に予防に努めている。 4名

2. 特定行為について

【活動報告】

- ・医療的ケアを必要とする人たちへの支援を実施した。
- ・喀痰吸引等研修2号研修の実施研修1名実施行い修了した。
- ・喀痰吸引等研修2号研修の基礎研修と実施研修を予定していたが実施出来なかった。

3. 感染症対策

【活動内容】

- ・新型コロナウイルスを含む感染症情報を収集し、職員への注意喚起を行った。
- ・感染症対策の備品の管理を行った。
- ・新型コロナウイルスを含む感染症の事業継続計画（BCP）の更新に取り組んだ。
- ・嘔吐物処理方法やガウンテクニックなど動画や実践を通して研修を行った。

■事故対策委員会

令和5年度中期方針に基づき「介護リスクマネジメントの取り組み」を実施した。

【活動内容】

1. 事故・ヒヤリハット報告の管理・分析

①事故・ヒヤリハット報告集計

事故発生件数 84件 ヒヤリハット発生件数 110件

〈発生場所〉

場所	居室	食堂	トイレ	浴室	リハ	デイ	その他
事故	50	11	13	2	0	1	7
ヒヤリ	47	15	3	20	3	1	21

〈状況〉

状況	転倒	転落	誤薬	誤嚥・誤飲	受傷	離脱	その他
事故	27	28	12	4	8	0	3
ヒヤリ	6	21	2	3	46	3	29

〈所見〉

所見	創傷	打撲	頭部打撲	骨折	窒息	火傷	その他
事故	9	20	10	4	2	0	39
ヒヤリ	39	13	1	0	0	0	57

〈要因〉

要因	職員の介助方法	利用者の身体・精神認知機能	環境・備品	その他
事故	18	42	18	4
ヒヤリ	37	36	27	10

2. 再発防止策を職員に周知させる方法の検討

- ・再発防止策の周知方法は、変更しなかったが、特に重要な申し送り事項などは、スタッフルーム内に掲示して注意喚起を行った。
- ・対策担当を各主任係長としたことで、現場での課題意識の向上につながった。

3. 危険予知活動（KY活動）

- ・危険予知訓練（KYT）の研修を各委員会にて実施した。
- ・リスクマネジメントの行動目標を毎日のミーティング時に声出し確認した。（各月）

4. 介護リスクマネジメントの取り組み（令和4年～6年 中期方針）

①研修の実施

介護リスクマネジメント研修動画の作成し、全職員が各自視聴する方法にて研修を実施した。研修後は、感想などの記入をいただき、次回以降の研修に役立つようにした。

②マニュアルの整備

昨年度に完成させた事故ヒヤリハット報告マニュアルに沿って実施し、年度途中にアンケートにて職員の意識や理解度を把握した。

■環境整備

1. 備品

【活動内容】

- ・消耗品の発注と管理、購入手配
- ・介護用品の管理、発注（オムツは除く）
- ・故障、破損物など修理依頼方法の更新
- ・備品倉庫管理
- ・備品管理簿、備品貸出表の管理

2. 環境整備

【活動内容】

- ・利用者の日常生活における環境整備、向上、職員業務の円滑さを目的とし、施設内環境整備、週間清掃、洗濯室掃除等の業務を遂行した。
- ・居室コンセント破損防止策として、電動ベッド移動や昇降で差込口を破損しないよう配線した。

- ・浴室での感染症対策として使用物品購入、消毒システムを実施した。
- ・備品、消耗品の保管場所の検討、既存の収納スペースの整理と活用法の検討を行った。

【年間活動】

4月14、15日	廊下ワックス清掃
4月18日	雨水濾過装置点検 貯湯槽清掃
6月～7月	ベットパット、布団交換（冬→夏）
6月	衣替え
6月4日	エアコンフィルター清掃（居室含む）
8月1日～31日	大清掃
10月12日～19日	カーテンクリーニング（共用部のみ）
10月27日	ガラス・網戸清掃（屋外のみ）
10月	ベッドパッド、枕、布団交換（夏→冬）、衣替え
11月7日	ワックス清掃（居室以外）
1月13日	エアコンフィルター清掃（共用部のみ）
3月	備品管理簿チェック 倉庫整理

3. 理容室・美容室の連絡調整

利用者の希望時間調整。理容室、美容室との日時・人数連絡。チラシによる利用者への連絡、代金支払い支援を行った。

■生活向上

1. 入浴

【活動内容】

- ・入浴日程表、入浴順番表、衣類準備表の更新、見直し
- ・入浴日、入浴時間、入浴スタイル（家庭浴、特浴、等）の変更、検討
- ・物品の管理
- ・マニュアルの更新

2. 排泄

【活動内容】

- ・オムツ交換時間の見直し、変更
- ・排泄チェック表の作成
- ・使用オムツの見直し
- ・排泄マニュアルの更新

3. 整容

【活動内容】

- ・顔拭き、髭剃りチェック表、爪切りチェック表の管理・更新。
- ・口腔ケア用品の交換と状態の確認について毎月連絡、申し送りを行った。

4. 食事

【活動内容】

- ・ 食席の見直し、変更。
- ・ 職員の人員配置の変更
- ・ 居室配膳者への配膳時間と方法の見直し
- ・ 月一回給食会議への出席と参加利用者の選出
利用者から出た食事に関する意見の収集
- ・ 2月に行われた鍋料理の食席の決定と職員配置の検討
- ・ 水分、おやつチェック表の見直し、更新
- ・ 食席や食事に関する苦情、要望にその都度対応した

5. 購買、買い物サービス

【活動内容】

- ・ むつみや（毎週木曜FAX、水曜納品）、リハビリ病院売店（毎週火曜FAX、金曜納品）
いきいき通販（毎月第2・第4火曜FAX）をそれぞれ実施した。
- ・ 上記買い物サービスでは購入が困難なものについての要望に対し、買い物リストを作成し、デイの送迎時や他部署の応援をいただき購入をお願いした。
- ・ 工房やひこのパン販売（毎月第3金曜日）において、年間計画を立て、パン購入希望者の注文聞き取り、一部集金等を行った。

6. 腰痛予防対策

【活動内容】

- ・ 安心安全な移乗方法への取り組みを行った。
- ・ 浴室用スリングを一部更新した。

■防 災

令和5年度中期方針に基づき「事業継続計画の策定」の取り組みを実施した。

【活動内容】

- ・ 令和5年度重点取組事項として、施設設備面における防犯に係る安全確保の検討を行った。
- ・ 自然災害BCPは都度修正を行ってきたが、能登半島地震の際にそれぞれの職員が判断し、動くことはできていたが、BCPは活用できていなかった。
- ・ ご利用者、職員合同で非常食に関する研修・試食会を実施した。

	実施内容	備考
4月	備品ポータブル電源点検	
4月28日	非常通報装置点検（業者）	
5月25日	春期総合避難訓練（消防参加なし）	参加4名（佐藤、大平、真柄、真保）
6月	備品ポータブル電源点検	
7月	緊急連絡網訓練（携帯メール配信）	
8月	備品ポータブル電源点検	
10月19日	非常通報装置点検（業者）	
11月	備品ポータブル電源点検	

11月28日	夜間想定避難訓練	参加者3名（熊谷、本間直、田村）
11月	利用者・職員への防犯訓練説明	
12月7日	防犯訓練	参加5名（渡辺、高橋、本間隆、星野、藍澤）
12月	雪害対策検討、消雪設備等の点検	
1月	非常通報装置点検（業者）	
2月27日	電話連絡による職員の緊急招集訓練	参加28名
3月	BCP施設内研修（非常食）	

■研修

1、研修

【活動内容】

- ・研修マニュアルの管理
- ・施設内研修・法人内研修について開催の調整
- ・施設外研修への派遣・手続き
- ・新人研修についての調整
- ・新型コロナウイルスの制限が緩和され施設外研修が増加した。社会福祉協議会等の研修はオンライン・リモート・オンデマンド等が中心となり施設内で行えるようになったことで、今まで研修に参加できなかったパートの職員も、勤務時間内で研修に参加することができ参加者も時間が合えば数名で参加できるようになったことで、同じ情報を共有できた。

① 外部・オンライン研修

日付	研修・会議内容	場 所	参加者
5月18日	安全運転管理者等講習	巻文化会館	1名
6月 6日	コミュニケーション能力向上研修	ユニゾンプラザ	1名
6月23日	福祉職の接遇マナー研修	ユニゾンプラザ	1名
6月29日	チームビルディング研修	ユニゾンプラザ	1名
7月 2日	介護職のためのアンガーマネジメント研修	オンライン研修	1名
7月19日	介護記録の書き方研修	オンライン研修	1名
7月28日	フィジカルアセスメント研修	オンライン研修	1名
8月 1日	口腔ケア研修	オンライン研修	1名
8月28日	リーダーシップ研修	オンライン研修	1名
9月22日	コンフリクトマネジメント研修	ユニゾンプラザ	1名
9月28～29日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（チームリーダー）	燕三条産業振興セン	1名
10月 3日	日中一時支援事業の制度改正に係る併設型事業所向け説明会	新潟市役所	1名
10月18日	対人援助に活かすコミュニケーション技術	オンライン研修	1名
10月20日	2023年度司法福祉研修会	燕三条産業振興セン	1名
10月25日	風通しの良い職場の作り方研修	オンライン研修	1名
10月26日	第2回認知症ケア・対応研修	ユニゾンプラザ	1名
11月 2日	サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者更新研修	新潟自治会館	2名
11月16～17日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（チームリーダー）	ユニゾンプラザ	1名
12月 1日	ストレスマネジメント研修	ユニゾンプラザ	1名
12月 5日	相談記録の書き方研修	オンライン	1名

1月20日	高次脳機能障害による医療・保健・福祉関係職員研修会	オンライン研修	1名
1月24日	応急手当普及員更新研修会	新潟市消防局	1名
1月25日	新潟市地域生活支援拠点等事業 第2回拠点登録事業会議	新潟市役所	1名
2月 2日	新潟市障がい福祉サービス事業管理者連絡会	万代シルバーホテル	2名
1月27日～ 2月28日	障害者虐待防止マネージャー研修会	オンライン研修	10名
3月 1日	高齢者・障がい者施設等 感染症対策研修会	オンライン研修	2名

②施設内研修

○感染症対策研修（動画視聴） 講師：安全委員会

日付	内 容	参加者
8月1～8月31日	汚物処理マニュアルを用い汚物処理、ガウンテクニックの確認を動画視聴で行う。	全職員

○嘔吐物処理（実技）研修 講師：花王プロフェッショナルサービス(株)

日付	内 容	参加者
11月16日～1月16日	簡易汚物処理キット、ガウンテクニック、汚物処理の実践	全職員

③法人研修 オンラインフィードバック研修（株式会社ピーエムシー）

日付	内 容	参加者
11月～1月	オンラインフィードバック研修「高齢者虐待防止と身体拘束」	全職員

④新人職員研修について

- ・令和6年度の新規採用職員は入所支援係 正職員2名、パート職員2名だった。
- ・今までの研修計画表を元に、各新人職員のプリセプターが勤務表を確認し、講師となる職員と相談しながら臨機応変に作成することで、研修状況を把握することができた。

2. 実習生受け入れ

期間	学校名	実習名	人数
8月21日～9月20日	新潟医療福祉大学	相談援助実習	1名
11月27日～12月8日	新潟こども医療専門学校	保育実習	1名

■日中活動

1. 日中活動

①趣味的活動

【活動日】 毎月の日中活動予定表に沿って実施

【活動時間】 13：45～14：45

【活動項目】カラオケ、書道、調理レク、映画、散歩、ゲームなど

②調理レク、食べる会

【活動内容】

○かき氷を食べる会 7月 4日（火） 参加者：21名

暑さが続く中、かき氷を味わいながら涼んだ。

○焼き芋を食べる会 2月26日(月) 参加者：20名

五泉市の「いも奉行」様より、美味しい焼き芋を提供していただいた。

○ひな祭りケーキ作り 3月8日(金) 参加者：32名

ひな祭りケーキとして、フルーツたっぷりのケーキを作って、皆さんでいただいた。

2. 外出支援

①外出支援

・希望者26名の外出支援を実施した。行先はスーパー、弥彦公園もみじ谷、上堰潟公園、岩室散策と限定し、実施した。

②施設外行事

○県身協下越地区オセロ交流会 参加者：3名

6月27日(火)新潟ユニゾンプラザにて開催。

○県身協下越地区スポーツ交流会 参加者：3名

10月18日(水)新潟ユニゾンプラザにて開催。

○いわむろ温泉ひな巡り 参加者：17名

2月22日～3月10日 岩室温泉街で開催。かたくりの里は、いわむろやのみの参加。

○いわむろ産業まつり 参加者：1名

10月22日(日) 岩室体育館にて開催。

○にしかん・障がい者作品展 出展者：2名

2月16日～3月15日 巻ふれあい福祉センターにて開催。利用者2名が詩を出展した。

○ふれあいコンサート 参加者：1名

3月24日(日)巻ふれあい福祉センターにて開催。利用者2名の詩が選ばれ、曲を付けていただけました。

3. ボランティア

【活動内容】

- ・慰問などの受け入れ
- ・個人ボランティアの活動のサポート

【ボランティア活動】

- ・傾聴ボランティア(リモート) 対象利用者 1名
- ・かたくり祭り 学生ボランティア 4名

4. 行事

【活動内容】

○桜を見る会 4月11日

施設の桜を見ながら桜餅を食した。

○運動会 6月11日(日) 参加人数：34名

利用者参加競技3種に加え、職員競技を追加し、利用者、職員共に楽しめた。

○納涼祭 8月1日(火) 参加人数: 35名

枝豆ととうもろこしと一緒にノンアルコールビールで乾杯して楽しんだ。

○お月見会 9月5日(火) 参加人数: 30名

シャインマスカット大福を、利用者さんが作成したお月見飾りを見ながらお月見気分を楽しんだ。

○かたくり祭 10月29日(日) 51名

20周年記念とし、ご家族を招き開催した。

開催目的を「ご家族との絆を深める」「かたくりの魅力を発信する」として実施し、概ね達成できた。

○クリスマス会 12月22日(金) 参加人数: 40名

ミニゲーム、ハンドベル演奏を楽しんだ後、皆さんでケーキをいただき、利用者全員にプレゼントをお渡しした。

○餅つき会 1月9日(火) 参加人数: 36名

杵と臼でつくたてのお餅を提供し、新年のお祝いをした。今年より、あんこ餅をおしるこに変更したが、食べやすいと好評だった。

○節分 2月2日(金) 参加人数: 34名

豆まきで鬼退治をした後、節分の上生菓子と水羊羹をいただいた。

■情報管理

【活動内容】

日付	情報管理	広報
4月	新年度マニュアルの発行	
5月	入所利用者手順書更新開始(~6月)	かたくり通信54号発行
7月		写真印刷・掲示・配布
9月		写真印刷・掲示・配布
11月		写真印刷・掲示・配布
1月	業務マニュアル更新開始	写真印刷・掲示・配布
2月	業務マニュアル更新	
3月	業務マニュアル編集	かたくり通信発行準備

※通年

種類整理・管理、スタッフルームホワイトボード整理、PC内データ整理
行事等活動時の写真撮影

※随時

Facebook、Instagram、ホームページの管理、更新
救急隊への情報提供カードの更新
新規入所者の情報整備
PDCAサイクルを用いた委員会業務の改善

■業務検討会

令和5年度中期方針に基づき「福祉サービス第三者評価受審後の取り組み」を実施した。

【活動内容】

第三者評価基準・ケアガイドラインから、かたくりの里が取り組まなければならない事、施設としてあるべき姿の想定、サービスの向上、業務の効率化等の課題や、運営項目においての課題を抽出し、改善点として提案した。課題やテーマの提案や改善は、業務検討会において、PDCAサイクルを意識して改善計画、実施計画・実行・評価・改善、是正処置を実施した。

1. 第三者評価・ケアガイドラインの活用について

- ・第三者評価受審後、改めて利用者アンケートを実施し、サービス向上に繋がるご意見、課題を抽出することができた。
- ・12月に開催された全国身体障害者施設協議会 職員スキルアップ研修会において、かたくりの里のケアガイドラインの取り組みについて実践報告を行った。

2. 課題検討について

ケアガイドライン等により抽出された課題についてPDCAサイクルを利用し、以下の課題について解決へ向けての取り組みを行った。

【主な検討内容】

- ・介護職員等へのハラスメントの取り組みについて
- ・施設設備面における防犯に係る安全確保について
- ・かたくり祭について
- ・事故・ヒヤリハット対策について
- ・不適切な支援に関する事例検討について
- ・ハイブリッドファンの導入について
- ・受水槽給水ポンプ入替工事について
- ・安全で正しい排便介助の実施について
- ・介護記録の書き方について
- ・非常食について
- ・施設内無線LAN工事について
- ・利用者アンケートの実施について
- ・個別支援計画の記録について
- ・タブレットの導入について

3. 施設と利用者の話し合い

【活動内容】

- ・毎月「利用者と施設の話し合い」を実施。実施する為の準備・司会進行。

話し合い内容

実施日	内 容	利用者参加人数
4月28日	オセロ交流会について	27名
5月25日	車椅子の走行について	25名
6月22日	かたくり祭に向けた座談会について、給食座談会について	23名

8月25日	給食座談会について、買い物について	24名
9月28日	かたくり祭について	26名
10月26日	保育実習について、受水槽工事について	26名
11月24日	県身協スポーツ交流会報告、防犯訓練について	26名
12月28日	年末年始デイサービスの営業について	26名
1月25日	カラオケ機器について、洗濯機について	23名
2月21日	感染症の対応について、施設設備工事について	25名
3月28日	給食について	27名

8 施設外活動

■身体障害者施設協議会

日付	研修・会議内容	場 所	参加者
6月23日	県身協 第1回総会並びに施設長・庶務担当課長会議	ニューオータニ長岡	2名
6月27日	県身協 オセロ交流会	亀田ふれあいプラザ	5名
6月28～29日	関東・甲信越地区第1回総会・第1回施設長会議	ホテル国際21 長野	1名
7月20～21日	全国身体障害者施設協議会研究大会	高崎芸術劇場	3名
7月 27日	県身協職員研修	オンライン研修	1名
10月18日	県身協 スポーツ交流会	亀田ふれあいプラザ	1名
10月27日	県身協 支援担当課長会議	ニューオータニ長岡	2名
11月17日	県身協 庶務担当者会議	ニューオータニ長岡	1名
11月28日	関東・甲信越地区 第2回施設長会議	パレスホテル大宮	1名
12月13日	全国身障協 職員スキルアップ研修	有明コンベンションホール	2名
2月22日	県身協 第2回総会並びに施設長・庶務担当課長会議	ニューオータニ長岡	2名
2月29～3月1日	関東・甲信越地区第2回総会・第3回施設長会議	ホテル国際21 長野	1名
3月5日	全国身障協 経営セミナー	灘尾ホール	1名
3月8～13日	新潟県DWAT派遣能登半島地震支援	石川県庁DWAT本部	1名

9 補助金・助成金等 事業報告

- 新潟市 新潟市障がい者施設等光熱費等高騰対策支援金 2,147,000円
- 新潟県 医療機関・社会福祉施設光熱費等高騰対策緊急支援事業補助金 600,000円
- 新潟市 令和5年度結核予防費補助金 10,480円

■ 御下賜金伝達式

令和6年2月23日の天皇誕生日に際し、天皇陛下より各都道府県・指定都市の優良民間福祉事業施設として、かたくりの里に御下賜金が下賜された。

令和6年2月20日 新潟市役所にて伝達式が行われ、中原八一新潟市長よりかたくりの里に伝達された。